

皆様、こんにちは。今日は多くのイタリア及び日本の企業の方々、政治家の方々とともにこの会場にいることを大変光栄に思います。それに感動もしております。というのも、私自身が属していない世界の方々と一緒にだからです。私がこの会合に招待されたのは、おそらく日本に対する私の深い愛情ゆえのことだと思えます。個人的には日本は世界で最も洗練された国だと思っております。

こちらで皆様にビデオをお見せしておりますが、これは今年 7 月にローマで開催した「ジャポニズム、ジャパニーズ・アート」に捧げたファッションショーのものであります。

私の長いキャリアの中で、世界の多くの国を訪れ、アフリカ、中国、ロシア連邦、南アメリカなど多くの国の文化や芸術を学びましたが、こんな純粹で外国の影響を一切受けなかった芸術、強い男性と優しい女性の芸術ほど大きな影響を受けたものはありませんでした。

事実、どの芸術伝達手段も、その起源において分析されたイメージを超えるほどの説得手段はありません。特に日本およびヨーロッパの多様な芸術においては顕著で、そのバリエーションは 18 世紀に始まった日本と西洋の創造性の出会いから、多くのものが出ています。このアジア文化の影響は西洋人に大きなインパクトを与え、手工業、ファッション、建築、それから最近ですが食品などの分野に広がりました。クリムト、ヴァン・ゴッホ、タンギー、ドガ、モネなどの巨匠の作品にもその影響が見られます。身体のボリュームが異なっていながらも、着物という服装でバランスが取れたこの造形美術に私は強く惹かれ、細田栄之、喜多川歌麿の描く上流階級の女性達の姿にはすっかり虜になってしまいました。江戸時代の服装である着物の布地までが瞑想深く歩く姿または立ち姿によって、女性の姿勢を描いているだけでなく、その図柄と色合いの美しさを最大限に発揮しているのです。この着物の布地は当時のパリでも大変な人気で、特殊な図柄、色合いも作品全体の効果によって消えるというなんともいえないものでした。

また忘れてはならないのが、歌麿や葛飾北斎の描く山の素晴らしい色合いや、歌川国貞の色彩効果です。

お見せしている DVD からもお気づきと思いますが、布地のプリントはこういった芸術表現から大きな影響とインスピレーションを受けたものです。ジェットインプレッションという最新テクノロジーを採用して仕上げられたプリントですが、この最新の機械は二度と再現することができないだろうと思っていた非常に微妙な色のぼかし具合までも見事に再現してくれました。

こうして、日本の桜満開の庭園や富士山と頂上の雪、各季節の様々な色合いから私のファンタジーをふくらませ、解釈してみたのです。和光と数年一緒に仕事をしたことがありながらも、残念ながら私はまだこの素晴らしい国、日本を訪れたことがありません。おそらく私の作る製品は高すぎてキャッシュフローのためには競争力がないのかもしれませんが、現在では機械加工による製品も作っているため、将来的には何かしらのジョイントベンチャーができればと願っております。

私にインスピレーションを与えてくれた侍の鎧には、この素晴らしい冒険において助けてくれたことを感謝いたします。この経験は私の人生、DNA、芸術をたどる道において一生忘れることはないでしょう。